

アジア地域(日本・中国・韓国)ファッションデザイン文化交流に見る 人材育成の効果と可能性

THE POTENTIALITY AND EFFECTIVENESS OF FASHION DESIGN CULTURAL EXCHANGERELATED
TO HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT IN ASIA(JAPAN, CHINA AND KOREA).

.....
安田 雅子 デザイン学部ファッションデザイン学科 教授
見寺 貞子 デザイン学部ファッションデザイン学科 教授
瀬能 徹 デザイン学部ファッションデザイン学科 准教授
曾和 具之 デザイン学部プロダクトデザイン学科 准教授
谷口 文保 先端芸術学部クラフト・美術学科 准教授

Masako YASUDA Department of Fashion and Textile Design, School of Design, Professor
Sadako MITERA Department of Fashion and Textile Design, School of Design, Professor
Toru SENOU Department of Fashion and Textile Design, School of Design, Associate Professor
Tomoyuki SOWA Department of Product Design, School of Design, Associate Professor
Fumiyasu TANIGUCHI Department of Crafts and Arts, School of Progressive Arts, Assistant Professor
.....

要旨

昨今、グローバル社会に通じる人材育成が望まれている日本の教育において、本学ファッションデザイン学科は、国際的視野での円滑な人間関係やデザイン力を持ち得る人材育成を目的に2010年、2011年の9月、中国大連市で開催された「中国(大連)国際服装繊維博覧会」のアジア3大学のデザイン文化交流会に参加した。そして本学科有志が参加し、ファッションショーと展示で作品発表を行った。

2013年2月、「ファッションデザイン文化交流ーアジアのファッション市場からこれからのデザイン教育を考えるー」というテーマで、本学にて中国、韓国関係者の各氏による基調講演、本学教員、北九州国際文化交流協会関係者を交えてのパネルディスカッションを開催。そこから国際交流を通じて得られた知見と今後のデザイン教育の課題について報告する。

Summary

Education in Japan today, the development of human resources to the global community is highly desirable. And in 2010, for the purpose of human resources development that have design skills in relation to an international perspective is necessary, then the Fashion Design Department of our University, in 2011 september participated in a cultural exchange meeting design with three universities Asia in "China International Garment Textile Expo", held in Dalian, China. Our department staff and volunteers participated, work and assist in the success of the exhibition and fashion show.

And at February 2013, "fashion design cultural exchange - thinking about the design education in the future from the Asia fashion market perspective-" is the theme of our university teachers, keynote speeches by China officials, Korean officials, and Kitakyushu City International Cultural Exchange Association which is held in our University symposium sprinkled with stakeholders. I will report this information on the challenges of design education and future knowledge which obtained through this international exchange.

1) 目的

昨今、グローバル社会に通じる人材育成が望まれている日本の教育において、本学ファッションデザイン学科は、国際的な場でのコミュニケーション力やデザイン力を持ち得る人材育成を目的に、2010年、2011年の9月、中国大連市で開催された「中国（大連）国際服装紡織博覧会—アジア3大学のデザイン文化交流会—」に本学科有志が参加し、ファッションショーと展示で作品発表を行った。2年間の成果を踏まえて、さらに親睦を深めるために、2013年2月、「ファッションデザイン文化交流—アジアのファッション市場からこれからのデザイン教育を考える—」をテーマに、本学にて中国、韓国関係者各氏による基調講演と本学教員、北九州市国際文化交流協会関係者を交えてのシンポジウムを開催した。本報は、国際交流を通じて得られた知見と今後のデザイン教育の課題について報告する。

2) 概要

2-1) 大連工業大学への訪問

毎年、中国大連市を訪問する中、今年も大連工業大学(服装学院)を訪問し、双方のファッションデザイン教育についての情報交換を行った。服装学院のカリキュラムでは、衣装制作、パターンメイキングは勿論、テキスタイルデザイン、商品企画、人間工学が開講されており、一貫したファッションデザイン教育がなされていた。また、本学にはないプロのモデルを養成するモデルコースがある。美容学校においても、衣装とヘアメイクのコラボレーション授業や大学と提携しての作品制作発表を実施しており、今後、本学のカリキュラム構成の参考としたい。

また、大連理工大学(外国語学院)も訪問した。彼らは、日本文化やファッションについて大変興味を持ち、将来は関連する日系企業に就職したいという希望を抱き、常に電子辞書(日本製)を持ち歩き、意欲的に日本語を勉強している。学生総数6万人、授業は朝8:00~夜8:00、アルバイトなどする時間がなく、勉強する。そのエネルギーに勉強する姿には感心した(写真1)(写真2)(写真3)(写真4)。



写真1) 大連工業大学 テキスタイル実習室



写真2) 大連工業大学 卒業制作プレゼンテーション



写真3) 大連理工大学外国語学院



写真4) 大連理工大学日本語学院1年生

2-2) シンポジウム開催

2013年2月2日、「ファッションデザイン文化交流ーアジアのファッション市場からこれからのデザイン教育を考えるー」をテーマに、シンポジウムを開催した(図1)。



図1) デザイン作成 越智英雄(05年度生)

講演者は、矢野敏行氏。「韓国の暮らしと文化」をテーマに、NHK記者時代に滞在した体験をもとに講演していただいた。今も生きている儒教の影響や韓国の女性社会の実情、韓国の若者たちのファッションへの関心、現在の韓国のライフスタイルについて画像を交えて紹介していただいた。



写真5) 基調講演(矢野敏行氏)

また、大連理工大学講師林樂青氏は「中国現代歴史における若者のファッションについて」を講演。生活レベルの上昇に伴い、現在、健康やECO等に関心を持つ若者が増えている。彼らは、その傾向を踏まえたファッションデザインに関心を持ち、そのようなブランドの人気の高いという興味深い内容であった。

このシンポジウム参加のため、大連理工大学大学院院

生楊竹さんと張建さんが来校された。三国のファッション事情を題材として芸工大参加学生との友好交流がなされていた(写真5)(写真6)(写真7)。



写真6) 基調講演(林樂青氏)



写真7) パネルディスカッション

3) おわりに

本交流を継続する中、現在、中国アパレル企業に従事する卒業生がいる。個人の感性教育からグローバル社会に通じる人材育成を試みた効果の表れであると考えます。

一方では、この友好関係を継続していく仕組みづくりが今後の課題であると考えます。

4) 謝辞

本研究においてNPO法人北九州市国際文化交流協会顧問袴着英子様、水上滋子様、大連理工大学講師林樂青様、元NHK北九州放送局長矢野敏行様、越智英雄様にはご尽力を賜り、誠に感謝に堪えません。

参考文献

安田雅子他、「アジア地域(日本・中国・韓国)3国間での「ファッションショー及び作品展示」を通じてのデザイン教

育の効果と可能性に関する調査研究」、『芸術工学 2012』、
2012、<http://id.nii.ac.jp/1100/00000023>